

はじめに

「動物の適正譲渡における飼い主教育」作成にあたって

日本の犬や猫の飼育頭数は、約2,100万頭にも達し、またペットとして飼育される犬や猫の位置づけや役割も多様化し、家族の一員、パートナーとして扱われるようになってきています。しかし、その一方で年間犬が11万頭、猫が20万頭、都道府県等に引取られています。

環境大臣の定める「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」では犬猫の引取り数、殺処分数の減少を大きな目標の一つとしています。しかし、多くの自治体において、新たな飼養希望者又は所有者の発見には苦慮しているところであり、収容された犬及び猫の多くがやむなく殺処分されるに至っています。今後、殺処分数の減少のためにも、さらなる適正譲渡の推進が重要となります。

また、譲渡後の動物が適正に飼養されるよう、譲渡対象の動物や譲渡者を適切に選定する必要があります。「適正譲渡」とは譲渡する動物の数を単純に増やすことではなく、譲渡事業を通しての適正飼養の普及につながるものとするのが望まれます。

本書では、平成21年3月に発行した「子犬の子猫の適正譲渡ガイド」の内容をさらに充実させるとともに、特に譲渡事業を通じた地域への長期的な適正飼養の普及に主眼をおき、自治体での取り組み事例を交えて、相手に伝わるコミュニケーションテクニックまで盛り込んだものとなっています。各自治体の実情に合わせ、本書をご活用いただき、適正譲渡の一層の推進に役立つことを願っております。

■ 参考資料

これまでに発行され配布された資料です。参考にしてください。

- ・「成犬の適正譲渡～もう一度幸せに～」
(DVD / 成犬の適性テストの方法を収録)
平成19年3月発行



- ・「より多くの可能性を～民間との連携で広がる適正譲渡～」
(DVD)
平成20年3月発行



- ・「子犬と子猫の適正譲渡ガイド」(DVD付冊子)
平成21年3月発行



- ・「譲渡候補犬のためのリハビリとマッチング」(DVD)
平成22年2月発行



※ 冊子の内容は環境省のHPからダウンロードできます。